

# SAJ

## サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌  
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

### Vol.21

2020.5 月号

### カンボジア孤児院

# 日本人職員による 日本語授業を開始



カンボジアの孤児院「夢追う子どもたちの家」では、2月から日本人職員による日本語授業を開始しました。

在園中にN5（日本語検定5級）の資格を取得させることを目標に中学生以上は週3日（1日40分）を必須とし、小学生以下は、週1日にDVDや紙しばいなどで日本語に触れる楽しい時間となるようにしました。また、園長をはじめカンボジア職員全員も毎週土曜日に、中学生以上と同じ内容の日本語授業をしています。

教材にはクメール語翻訳がついていますが、日本人職員はクメール語を話す・読む・書くことができません。授業として成り立つのかとても心配で不安な気持ちでした。授業初日、子どもたち全員が期待に目を輝かせ、やる気の漲った表情をしてい

ました。日本では礼儀を重んじることやお辞儀の仕方にも色々あることなどを身振り手振りで教えました。お辞儀を実践してもらおうと笑い声に包まれ、あっという間に時間が過ぎ、無事に授業を終えることができました。日本語の習得には時間がかかりますが、子どもたちの意欲が日本語の難しさを乗り越え、日本に興味を持ってくれることを信じています。そして必ず全員がN5資格を取得できるように、一生懸命教えていきたいと思っています。子どもたちと皆様が日本語で会話できる日を夢見て、、、これからも温かいご支援をよろしくお願いいたします。



皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

### 会費

会員会費(年額) 1口 12,000円  
法人会費(年額) 1口 120,000円

### 一般寄附

用途は指定しないで  
金額も自由な寄附

### 指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口 100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口 12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

## 支援活動のご報告 (指定寄附別) 支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

### 孤児院運営支援

#### 里親 大江様 来園

短い時間でしたが、大江様と里子のサッカーはたくさんお話をしていました。勉強を頑張って一番になりなさいと指切りもしました。子どもたちの園内授業も見学されました。今回孤児院の卒園生であるヴィラーが大江様の通訳として一緒に来園しました。先輩としてとても良い姿を子どもたちに見せてくれました。(柚木)



サッカーと里親の大江様



#### リバーサイドホテル従業員様 来園

ポーサット州のリバーサイドホテルの従業員の方たちが来園されました。夢ボードに興味を示したり、子どもたちの部屋を見て回ったりと、園内を見学された後、子どもたちはノート、ロールケーキ、パンなどたくさんのプレゼントをいただきました。子どもたちの満面の笑みが喜びを語っています。職員の方々にも素敵なノートと美味しいパンを頂きました。(柚木)



### 学校運営支援【NDMSC】

#### 国際母国語の日

毎年2月21日は国際母国語の日としてユネスコで制定されています。この母国語の日はパキスタンの一部だったバングラデシュで「ベンガル語」を守るために多くの命が犠牲になったことがきっかけで制定されました。そのため、ベンガル人にとってはこの日はとても大切な日であり、全国でベンガル語の為に亡くなった方々にお祈りする日となっています。この日はバングラデシュの祝日ですが、全校生徒が学校に集まり、国のために戦った多くの方々に祈りを捧げました。(校長 古澤)



#### 社会科校外学習

Class 7の生徒たちが社会科校外学習を実施しました。学校から大型バスで首都ダッカにある国立博物館に行き、バングラデシュの歴史や文化について学びました。机上の授業とは違い、実際に自分の目で見て感じ、気になったことを学芸員の方に聞くことができ、多くの学び得ることができました。今後は、事後学習として学んだことを校内掲示用にまとめ、学校全体に共有します。(校長 古澤)



#### インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



#### 会費・寄附金のお振込み

●郵便局：00140-5-345903

●三井住友銀行：蒲田支店(普) 4353626 口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

#### 寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。



## 理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事：渡邊美樹

■理事：鳥井親一、清水和雄、  
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事：青木茂雄

■評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、  
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事：片山進平、小田剛志

第203回理事評議員会が3月23日に行われました。

【報告事項】

□カンボジアの経済・教育に関する最新情報 □孤児院報告 近況報告

□プノンペン事務所報告 □バングラデシュ報告

□SAJ Farm および 石鹸事業報告 □2月度会費寄附募金状況、2月予算実績報告

以上につき、青木業務執行理事より説明がなされこれを了承した。

【決議事項】

第1号議案 2020年度予算及び事業計画

青木業務執行理事より来年度予算及び事業計画の説明がされた。全員異議なく承認した。



## SAJ Farm

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場(農場)として、2010年にスタートさせた就労支援事業です。

### SAJ Farm の今

世界中でCOVID-19の影響が広がっている中、カンボジアでも影響が出ています。現在、国内の感染者数は122名(4/14時点)と他国に比べかなり低い水準です。当農場のスタッフは、比較的普通の生活ができています。しかし、本来4月13日～16日はクメール正月の祝日であったのですが、今回は延期になりました。更には、この期間の州間の移動が規制されてしまいました。一時はどうなる事かと思いましたが、SAJfarmのスタッフは皆、健康に勤務してくれています。また、嬉しいことに先日100日ぶりにまとまった雨が降ってくれました。乾季を耐え忍んだレモングラス

も現在は緑を取り戻し、スクスクと育ってくれています。今年も、日本に美味しいレモングラスティーを届けれるよう、スタッフ一同頑張っています。

(農場長 酒井)



## SAJ Farm農場長帰国！石鹸づくり体験

SAJ Farmの酒井農場長がカンボジアから帰国しました。その際にワタミ株式会社のテストキッチンをお借りして、酒井農場長がレクチャーする「石鹸づくり体験」を開催しました。実際に作ってみると、石鹸の種類によって色を作るところから始まり、様々な工程があり、とても手間がかかっていることがわかりました。石鹸づくりの大変さを理解することができとても良い機会となりました。



カンボジアのお土産屋では、現在4種類の石鹸を販売しています！





## 代表理事メッセージ オークンチュラン

カンボジアでも、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、様々な規制が強まっています。州をまたぐ移動が制限され、プノンペンから孤児院や農場に行けなくなり、日本からの直行便は5月31日まで運休になるなど、SAJの活動にも著しい影響が出ています。

3月17日からはカンボジア全土の小・中・高校が休校となり、孤児院の子どもたちは毎日一日中、孤児院で過ごすことになりました。日本の子どもたちと同じですが、休校期間中に遊んでばかりで生活習慣も乱れてしまう子と、規則正しい生活習慣を

崩さずに勉強もしっかりする子では、学力や成長に大きな差が生じます。孤児院では、休校期間中のタイムスケジュールを明確にし、eラーニングも活用しながら、子どもたちの学力向上と生活習慣の維持に努めています。

休校期間には4月中旬のクメール正月も含まれていましたが、政府からの通達で、クメール正月は延期になりました。子どもたちは親族の家に帰省することもできず、一部の子どもたちには動揺も見られました。それでも、職員の提案で勉強の合間に園内でバーベキューやカラオケ大会を催すな

## 代表理事 渡邊美樹

ど、子どもたちは元気に過ごしています。いつまで休校になるか、先が見えないのは日本と同じです。こんなときこそ、SAJ職員が一丸となって子どもたちと向き合っていきます。



封鎖の様子

## 支援者様メッセージ 株式会社スマイルプロジェクト 取締役副社長 後藤 直子 様

「これまで与えて頂いた感謝、愛情、環境を、これからは少しずつでも私たちが与える側になろう」私が3年前、この支援活動のお話をいただいた際に感じたことです。

以前よりご縁がございました渡邊代表理事より主人がいただいたお話でございます。活動内容をお聞きした際は兎にも角にも胸が熱くなったのを覚えております。

そして今、私たちには14歳の長女チョーイと、11歳になる双子の兄ソーを里子として。双子の弟ソクリーは友人家族(サウンズグッド株式会社 鈴木英則社長)が里親です。3人の子を2つの家族で賑やかに支援させていただいています！

チョーイは学校の先生になるのが夢と言

一生懸命に勉強をしています。先日は日本語で手紙をくれました。本当に嬉しかったです。

ソー・ソクリーはまだまだやんちゃです。2人とも警察官になりたいと言っていますが、将来の話に愛情をもって厳しいことを言う事もあります。

渡邊代表理事が日本でされている郁文館夢学園の教育理念と教育目的に共感し“子どもたちに夢を持たせ夢を追わせ夢を叶えさせる”という、子どもたちの幸せのためだけにある環境を、どうかこの子たちにも！

しかしながらカンボジアにはその教育や環境すら満足に与えられない状況です。

私たちが彼らにできることは、微力ながら



2020年1月カンボジア教育支援視察ツアー孤児院にて  
(左から)鈴木英則様、渡邊代表理事、後藤直子様、後藤誠次郎様  
(子ども・左から)チェン・ソクリー、チェン・チョーイ、チェン・ソー

もその環境をつくってあげることと、彼らの1番の応援団になることだと私は思っています。と、言いつつ孤児院で子どもたちと会うと、結局私がたくさんの元気を与えられています。(笑)

### 番外編 プノンペン事務所 ユット所長

コロナウイルスの影響で州移動の制限のため孤児院の職員や子どものカウンセリングに行けなくなった為 スカイプで参加し通訳しています。



### 今後の予定

5月25日  
理事評議委員会  
6月30日  
SAJ 総会

## これまでの実績

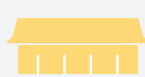
いただいた寄附金の累計額  
(2001年度～2018年度)



28 億

9,196 万 2,003 円

建設した学校の合計  
(2001年度～2019年度)



308 校

現在、SAJの建設した  
学校で授業を  
受けている児童・生徒の人数  
(2020年3月現在)



96,705 人

ふれあいサポートプランで  
文房具や制服を受け取った  
児童数の累計  
(2003年度～2019年度)



14,494 人

SAJの建設した学校で  
お米を受け取った  
児童数の累計  
(2006年度～2019年度)



10,527 人

SAJの建設した学校で  
朝給食を支給された  
児童数の累計  
(2006年度～2019年度)



117,132 人

### 編集後記

新型コロナウイルスの影響により、2020年4月の寄附金額および募金箱へのご寄附の報告は、次号にて予定しております。また、カンボジアやバングラデシュとの交流が難しくなってきました。孤児院の子どもたちがN5を目指し勉強に励むことが出来るように精一杯支援をしていきます。

公益財団法人 School Aid Japan  
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3  
TEL: 03-5737-2773  
FAX: 03-5737-2793  
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp  
http://www.schoolaidjapan.or.jp